

事務事業名		特産品生産施設及び加工品処理施設管理事業			☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業																																	
政策体系	政策名	05 豊かな市民生活を実現する産業の振興			事業期間		予算科目 会計 款 項 目 事業																																	
	施策名	20 産地化めざした農林業の振興																																						
	基本事業名	01 農業経営の安定化			☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 平成3 年度 ~) ☐ 期間限定複数年度 (計画期間) 年度 ~ 年度  全体計画欄の総投入量を記入		01 06 01 02 16																																	
根拠法令																																								
所属	部課名	農林水産部 農林課																																						
	係名	農政係	電話	27-3111																																				
			内線	343																																				
事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 特産品生産施設及び特産品加工処理施設を管理する事業。 特産品生産施設は、木工体験室、鹿皮加工室、加工処理室を有している。 特産品加工処理施設は、ハム工房と称し、シカ肉加工処理の設備を有している。 主な業務は以下のとおり。 ・施設の維持管理、補修。 ・利用希望者に利用させる。 ・平成19年度は、特産品加工処理施設を気仙シカ対策協議会に使用させた。 事業費は、光熱水費、修繕料、火災保険料等の通常の維持管理費。					全体計画 (期間限定複数年度のみ) <table border="1"> <tr> <td rowspan="5">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="5">事業費 財源内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>事業費計 (A)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td></td> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延べ業務時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>人件費計 (B)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">トータルコスト(A) + (B)</td> <td>0</td> </tr> </table>					総投入量 (千円)	事業費 財源内訳	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源				事業費計 (A)	0	人件費		正規職員従事人数			延べ業務時間			人件費計 (B)	0			トータルコスト(A) + (B)		0
総投入量 (千円)	事業費 財源内訳	国庫支出金																																						
		都道府県支出金																																						
		地方債																																						
		その他																																						
		一般財源																																						
		事業費計 (A)	0																																					
人件費		正規職員従事人数																																						
		延べ業務時間																																						
		人件費計 (B)	0																																					
		トータルコスト(A) + (B)		0																																				

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
手段 (主な活動)		名称	単位
前年度実績 (前年度に行った主な活動)		ア 特産品生産施設の利用日数	日
・施設の管理に係る需用費、手数料、委託料の支払業務		イ 加工品処理施設の利用日数	日
・利用希望者の受付、施設の鍵の開閉		ウ	
・施設の清掃			
今年度計画 (今年度に計画している主な活動)		対象指標 (対象の大きさを表す指標)	
前年度と同様		名称	単位
対象 (誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		カ 農家数	戸
市内の農家		キ	
		ク	
意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	
施設を使用してもらう。		名称	単位
		サ 特産品生産施設の利用者数	人
結果 (基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか)		シ 加工品処理施設の利用者数	人
農産物が安定して高く売れる		ス	

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)
投入量	事業費 財源内訳	単位						
	国庫支出金	千円						
	都道府県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	736	751	764	855	905	834
	事業費計 (A)	千円	736	751	764	855	905	834
	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1
	延べ業務時間	時間	20	40	20	20	20	20
	人件費計 (B)	千円	80	160	80	80	80	80
	トータルコスト(A) + (B)	千円	816	911	844	935	985	914
活動指標	ア	日	5	5	3	15	54	19
	イ	日	0	10	20	20	0	0
	ウ							
対象指標	カ	戸	1350	1350	1350	1350	1350	1350
	キ							
	ク							
成果指標	サ	人	15	20	12	100	162	21
	シ	人	0	20	40	40	0	0
	ス							

事務事業ID	1224	事務事業名	特産品生産施設及び加工品処理施設管理事業
--------	------	-------	----------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

旧三陸町で、シカを畜養して肉を加工することにより、地域資源を活用した産業振興、雇用確保を図るため、シカ肉の特産品化するための研究開発施設、加工処理施設を補助事業で建設したことによる。加工品処理施設は平成3年度に設置し、特産品生産施設は平成7年度に設置した。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

- ・特産品生産施設は、燻製の製作、乾燥農産物の粉碎等に利用されている。
- ・加工処理施設(ハム工房)は、三陸ふるさと振興に貸し出し、シカ肉加工品の製造を行わせていたが、シカ肉の需要が少ないことと、高価なことにより計画販売が困難なため、加工品の生産を中止した。このことにより、加工処理施設(ハム工房)は使用していない。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

- ・農業関係者及び観光関係者から、施設の有効利用を図るべきではないかと言われている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている [理由]  地域資源を活用した産業振興、雇用確保を図るという目的は、農業経営の安定化に結びつく。
	公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である [理由]  両施設とも市が補助事業で建設した施設であり、市が管理することが当然である。
	対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である [理由]  対象、意図とも限定されており妥当である。
有効性 評価	成果の向上余地	☒ 向上余地がある [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない [理由]  ・特産品生産施設については、グリーン・ツーリズム関連施設としてその機能を有効に発揮させる。 ・加工処理施設については、使用する業者を探して管理委託することが望ましい。
	廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 [その内容]  国庫補助事業を導入して市が建設した施設であり、原則として廃止、休止は認められていない。 もし、廃止、休止する場合は、補助金の返還が必要となる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある  (具体的な手段、事務事業) 両施設とも鹿の森公園内にあり、一体の管理とすることが可能である。 ☒ 統廃合・連携ができる [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない [理由]  鹿の森公園管理運営事業に統合することにより、成果の向上が期待できる。 ☐ 他に手段がない [理由] 
効率性 評価	事業費の削減余地	☐ 削減余地がある [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由]  両施設の事業費は、必要経費であり削減することはできない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	☒ 削減余地がある [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 削減余地がない [理由]  管理業務の委託により削減が可能である。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である [理由]  特産品生産施設は利用者から使用料を徴収しており、公正・公平に扱っている。

事務事業ID	1224	事務事業名	特産品生産施設及び加工品処理施設管理事業
--------	------	-------	----------------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) ・事業費については、必要経費しか計上しておらず削減の余地はないが、施設の有効活用を図るためには、直営管理でなくとも可能である。									
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																					
効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																					
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☒ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) ・両施設とも鹿の森公園敷地内にあり、鹿の森公園管理運営事業は三陸ふるさと振興株式会社に委託していることから、一体の施設として管理運営させることが望ましい。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上		●																				
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 施設の管理事業のみ委託したのでは、施設の有効活用が図られない。 特産品生産施設については、木材加工機具、燻製器、大型冷蔵庫などを完備しており、グリーン・ツーリズムの体験施設としての活用が可能である。 加工処理施設については、シカ肉加工処理施設として再利用を検討すべきである。平成18年度のための事業として、大船渡地方振興局農林部が主体となって設立したシカ肉流通促進研究会の成果をもとに、シカ肉の加工・流通の可能性を模索していく必要がある。																							

(職 名) 原則として施策の主管課長

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	農林課長
-------	------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)

- ☐ 記述不足でわかりにくい
☐ 一部記述不足のところがある
☒ 記述は十分なされている

評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)

- ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)
☐ 一部に客観性を欠いたところがある
☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果

目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり
有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり
効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり

(3) 評価結果の根拠と理由

鹿の森公園管理運営事業と統合し、三陸ふるさと振興(株)に委託するのが望ましい。

(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持
 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)

(上記方向性に対する具体的な内容)

鹿の森公園の次期指定管理見直しとなる平成25年度までは、現状どおり継続して事業を実施する。

(5) 改革・改善による期待成果

左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。
(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持		●	×
	低下		×	×

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項